

通常議員総会 令和2年度のコロナ禍での対応を報告

通常議員総会では、JMU舞鶴事業所の商船建造撤退に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経済状況が続くなか、日本商工会議所をはじめ府や市等との強固な信頼関係のもと、「稼げるまちづくり」、「元気な企業づくり」の実現に向けて取り組んだ事業報告と収支決算に関する議案5件と役員の補欠選任に関する議案1件について承認されました。（詳細は、舞鶴商工会議所ホームページでご確認ください）

事業報告 — 総括的概要 —

わが国経済は、下期に向かって持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により年度を通じて厳しい状況が続きました。

会員事業所においても売上激減など甚大な影響を受ける結果となり、景況調査でも、第1四半期の管内業況が調査開始以来のDIマイナス70.3の最低値となりました。

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けた経営者が心を折らずに、事業継続に希望を持てるよう、各種支援策を最大限活用して事業者に寄り添った経営支援や消費を喚起して市内事業者を応援する「まいづる地域商品券」事業を市から受託し取り組んできました。

また、JMU舞鶴事業所の商船建造撤退に伴い、造船の人材・技術・設備が活かせる新分野の事業展開に

ついて、府・市へ要望活動を行い、行政等と連携して関連従業員の雇用の確保にも努めました。

さらに、港湾や道路などの整備促進や電力産業についての要望活動、コロナ後を見据えた新たな事業展開や創業などに積極的に挑戦する事業者への支援に取り組みました。

令和2年度は「ガンバロー舞鶴」を合言葉に日本商工会議所をはじめ府や市等との強固な信頼関係の下で、「稼げるまちづくり」、「元気な企業づくり」の実現に向けて取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、経済活動が大きな影響を受け、当所の事業についても中止・延期を余儀なくされました。主な事業内容や事項別の内容については以下記載のとおりです。

主な事業内容（抜粋）

1. 「JMU 商船建造撤退」、 「新型コロナウイルス感染症」への対応

「JMU商船建造撤退」については、知事懇談会において、「造船の火種」を残すための方策について要望しました。また、長年培ってきた「ものづくり」の技術を継承するために、関係機関と連携し、会員企業の協力のもと退職従業員の雇用に面談会を実施しました。

「新型コロナウイルス感染症」については、日本商工会議所をはじめ、国・府・市との連携の中で、会員企業に寄り添いながら全力で対応に努めました。また、市の受託事業「まいづる地域商品券」を活用した「コロナ禍会員お見舞事業」を実施しました。

2. 意見要望活動

JMU商船建造撤退と新型コロナウイルス感染症の

拡大が地元経済に甚大な影響を及ぼす中、10部会の意見要望を、次代を拓く地域経済の振興などの6項目にとりまとめ、知事・市長に要望活動を行いました。

3. 地域活性化に関する事業

「まいづる海自カレー」の取り組みを市内10店舗で引き続き実施し、コロナ禍の中、約12,000食を販売しました。

4. 工業振興に関する事業

舞鶴工業集積協議会のホームページリニューアルと「京都ビジネス交流フェア」における企業紹介の横断幕掲示など販路開拓を支援しました。

5. 商業振興に関する事業

コロナ禍の飲食業支援のため、感染防止ガイドライ